#### がん・生殖医療連携会議 /Oncofertility Consortium JAPAN 2016 Meeting準備会議

平成28年度厚生労働科学研究補助金(がん対策推進総合研究事業) 総合的な思春期・若年成人(AYA)世代のがん対策のあり方に関する研究

H27-がん対策-一般-005

班長:国立名古屋医療センター臨床研究センター長 堀部敬三先生

#### 滋賀県でのがん・生殖医療連携の現状

滋賀医科大学 木村文則



#### 牛殖小班

聖マリアンナ医科大学医学部 岐阜大学大学院医学系研究科 岡山大学大学院保健学研究科 長崎大学医学部付属病院 滋賀医科大学医学部

埼玉医科大学総合医療センター・産婦人科学 岐阜大学大学院医学系研究科

• 産婦人科学

• 産科婦人科学分野 • 牛殖医学

• 産婦人科、生殖内分泌学

• 産婦人科学

• 産科婦人科学分野

森重健一郎

鈴木

古井

中塚

北島

木村

直

辰郎

幹也

道夫

文則

## 滋賀がん・生殖医療ネットワーク

呼びかけ施設である滋賀医科大学が、

DVDやリーフレットなどがん生殖医療に関わる資料を作成し、

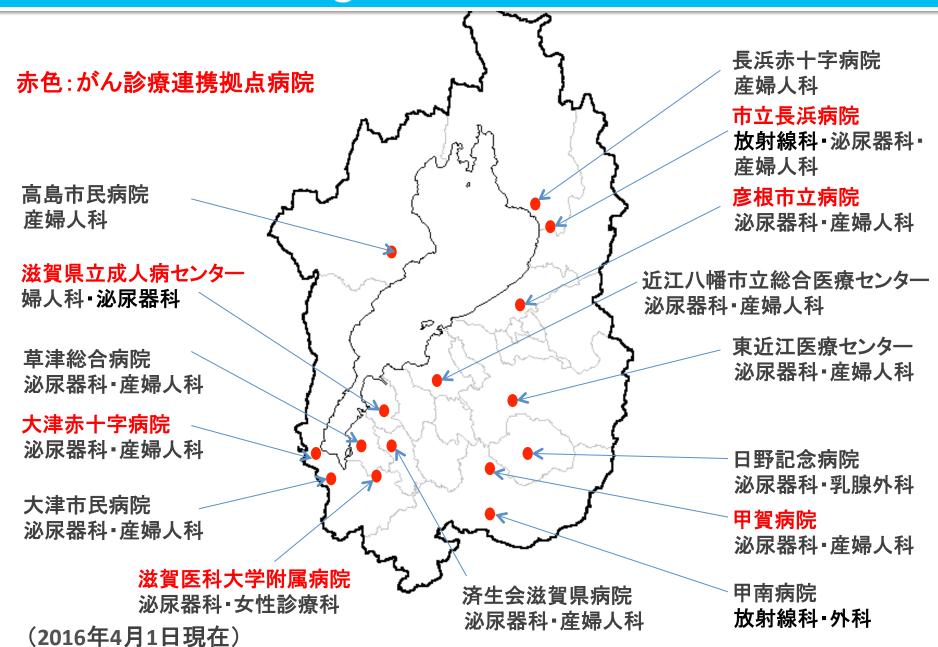
**がん妊孕支援科**(がん基幹施設の主に産婦人科、泌尿器科) と**インターネット**を通して

患者と医療者に

一般的ながん生殖医療の知識の啓発と 滋賀県内のART施設情報を普及すること

を目的としたネットワークである。

## OF-Net Shiga がん妊孕支援科一覧



#### 滋賀がん生殖医療ネットワークのホームページ



ん・生殖医療 ネットワーク F-Net Shiga

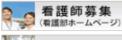
滋賀 がん・生殖医療ネットワーク (OF-Net Shiga)

ホーム » 滋賀 がん・生殖医療ネットワーク(OF-Net Shiga)

設立の背景と目的

受 診 案 内

クセス



病院再開発



TEL 077-548-2267(直通)

FAX 077-548-2406

**〒520-2192** 大津市瀬田月輪町

学講座

滋賀医科大学産科学婦人科

ネットワークの概要

ネットワークの特徴

Network

みんなのハートで未来の扉を開こう

設立の背景と目的

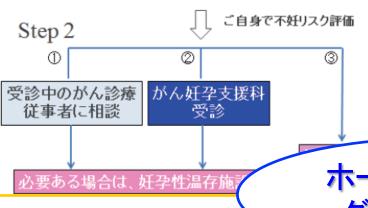
ネットワークのご利用方法

がん診療の進歩によりその治療成績は向上し、がんを克服した患者さん(がん生存者)が増えています。 これは非常に責げしいことですが、その一方で手術、放射線照射、化学療法による影響で妊娠することが、

#### 滋賀がん生殖医療ネットワークが作成した資料

otep 1

資料を呼びかけ施設ホームページからダウンロード



ホームページより ダウンロード可

- ◆共有する資料
- ①説明用DVD ②問診票 ③患者用リーフレット
- 4 医療者用リスク分類表
- ⑤医療者用妊孕性温存のためのアルゴリズム
- ⑥がん妊孕支援科一覧 ⑦妊孕性温存施設および診療内容一覧

けではありません。患者さんの病状等により妊孕性温存が適さない場合もあることはお含み下さい)。

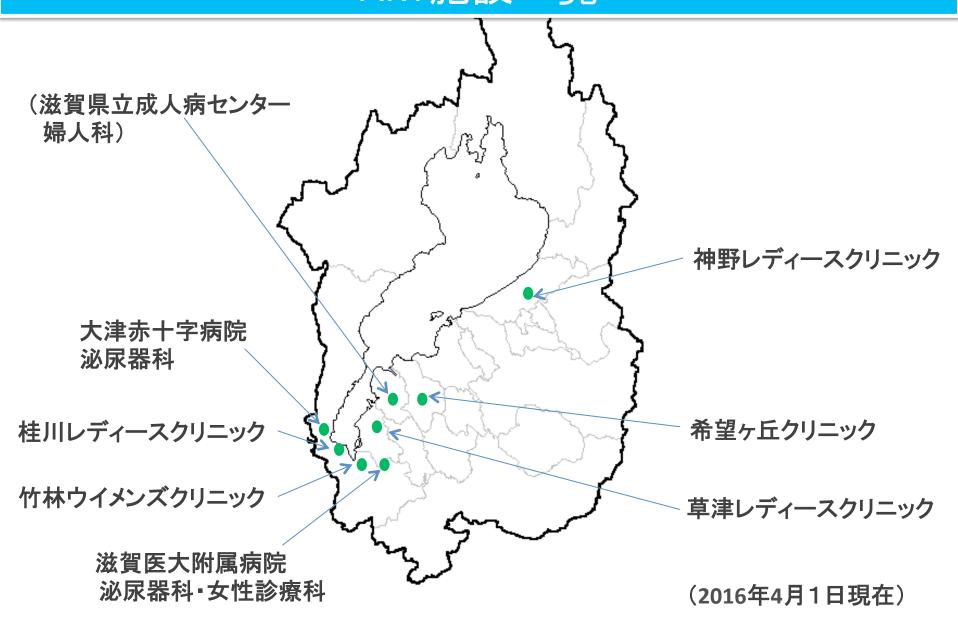
なお、がん・生殖医療および滋賀がん・生殖医療ネットワークのご理解を深めていただくために「OF-NETがん・生殖医療ネットワーク説明用DVD」の音声入り画像をご用意しました。ダウンロードしてご視聴ください。(ご視聴いただいた方は、 ofnshiga@belle.shiga-med.ac.jp までご意見をいただければ幸いです。どうぞ宜しくお願い申し上げます)

患者さん田グウンロートはこうしゅうじょう

- がん治療と妊孕性について
- 登録施設一覧表
- OF-Net がん・生殖医療ネットワーク説明用画像

がん診療徒争有がエストスースを利用される場合

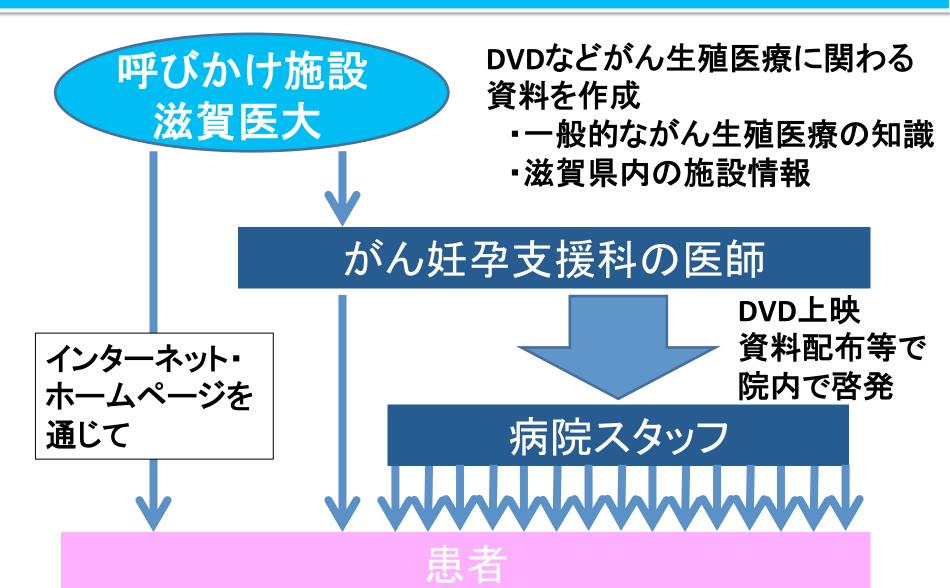
# 滋賀がん生殖医療ネットワークが作成した資料 ART施設一覧



# 滋賀がん生殖医療ネットワークが作成した資料 OF-Net Shiga 妊孕性温存施設での 生殖細胞保存に関する診療内容一覧

|             | 精子<br>凍結 | 精巣内<br>精子採取 | 卵子<br>凍結 | 受精卵<br>(胚)凍結 | 卵巣<br>凍結 |
|-------------|----------|-------------|----------|--------------|----------|
| 桂川LC        | 0        | ×           | 要相談      | 0            | ×        |
| 希望ヶ丘C       | 0        | ×           | ×        | 0            | ×        |
| 草津LC        | 0        | ×           | 要相談      | 0            | ×        |
| 神野LC        | 0        | ×           | 要相談      | 0            | ×        |
| 竹林WC        | 0        | ×           | 要相談      | 0            | ×        |
| 滋賀県立成人病センター | ×        | ×           | ×        | ×            | 検討中      |
| 大津赤十字       | ×        | 0           | ×        | ×            | ×        |
| 滋賀医科大学      | 0        | 0           | 0        | 0            | 0        |

# 滋賀がん・生殖医療ネットワーク情報の 流れ



## ネットワークの運営体制(1) 滋賀県

| 紹介先の主な施設                 | 複数 (病院2、クリニック5)<br>滋賀医科大学産婦人科など7施設             |  |  |
|--------------------------|--|--|--|
| 紹介方法                     | 電話相談、病診連携<br>滋賀医大に月から金曜日まで専門外<br>来(がん・妊孕外来)を開設 |  |  |
| がん診療施設からの<br>統一された情報提供書式 | なし   |  |  |
| 県外からの紹介                  | しばしばある   |  |  |
| 妊孕性温存実施施設                | 紹介先と同一   |  |  |
| ネットワーク運用資金               | 当初は、医局費<br>現在は県からの補助により運営                      |  |  |
| ネットワークHome Page<br>・開設資金 | あり<br>研究費(県から補助)                               |  |  |

# ネットワークの運営体制(2) 滋賀県

| 妊孕性温存に関する<br>情報提供内容 | 独自資料あり インターネット上公開資料+<br>患者説明用スライド123枚  |
|---------------------|--|
| 症例の情報               | 各施設で管理   |
| 施設間の交流方法            | 患者紹介以外なし   |
| 行政の関与               | 委託事業として、普及啓発活動補助、<br>妊孕性温存費用を補助  |
| ネットワークの特徴           | 滋賀県内のART施設の状況をインターネット、<br>妊孕性温存支援科などを通じて情報を広め<br>ることを中心としている   |
| ネットワークの課題           | 一元的な患者情報の把握が困難。<br>ART施設が、滋賀医大以外日産婦の医学的<br>適応生殖医療施設に登録できていない。多<br>くのがん妊孕支援科が、DVD研修施行が困<br>難であった。⇒ 行政の力で解決<br>各施設の拠点をがん支援センターに移行? |

以降、質問があった場合の資料

#### がん診療従事者の啓発

2)がん患者の妊孕性温存のための普及啓発事業【滋賀医大産科婦人科学講座委託】

願いします

| ,            |                             |
|--------------|-----------------------------|
| ①個別対応        | がん治療医療機関からの相談に対応 (案件ごと随時)   |
| 対象者          | がん治療機能を有する医療機関の従事者          |
| 実施時期         | 通年                          |
| 相談窓口         | 滋賀医大産科婦人科学講座                |
| ② <u>研修会</u> | がん治療医療機関ごとに実施(原則、必ず1回以上)    |
| 対象者          | がん診療連携拠点病院、がん診療連携支援病院、地域がん  |
|              | 臨床病院計 13 か所、その他の医療機関従事者     |
| 内容           | がん患者妊孕性温存処置の解説 (同助成事業含む)    |
|              | 県内の妊孕性温存療法施行施設の情報提供         |
| 実施方法         | 滋賀医大ががん治療医療機関の院内研修会等へ講師を派遣  |
| 役割分担         | がん治療医療機関:研修会の場の設定、参加者確保     |
|              | 滋賀医大:講師派遣、資料作成・印刷(細部は双方で調整) |
| 実施時期         | 平成28年4月~9月にがん診療連携拠点病院、がん診療連 |
|              | 携支援病院、地域がん診療病院計13か所にて各1回実施  |
| 費用           | 講師報償費、旅費は不要です               |
| その他          | 実施後、参加者アンケートへの協力、参加人数のご報告をお |
|              |                             |

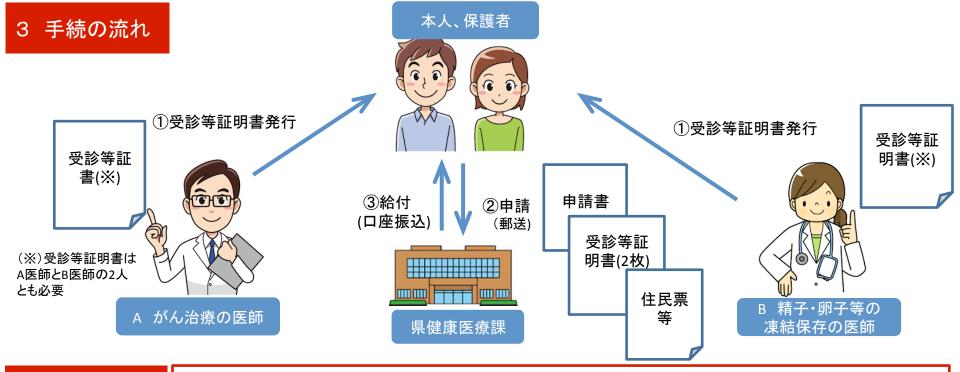
# 助成金の手続方法

1 助成内容

精子、卵子、受精卵、卵巣組織等の採取、凍結保存等にかかる保険適用外経費(生涯で1回) 上限:男性2万円、女性10万円

2 対象者

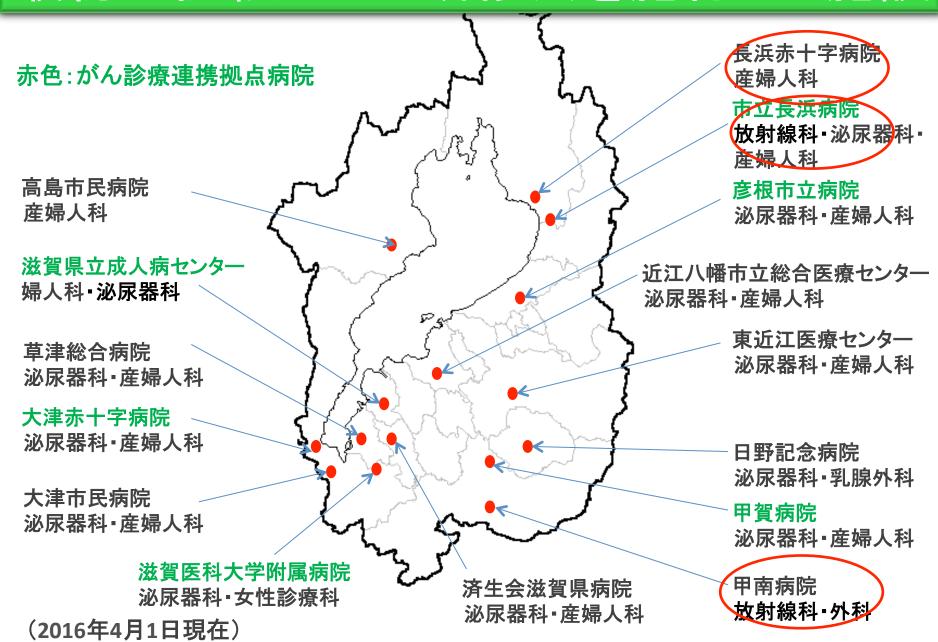
がん治療により子どもができなくなるおそれがあり、 助成内容の処置の時点で滋賀県内にお住まいの43歳未満の人(申請数20人程度を想定)



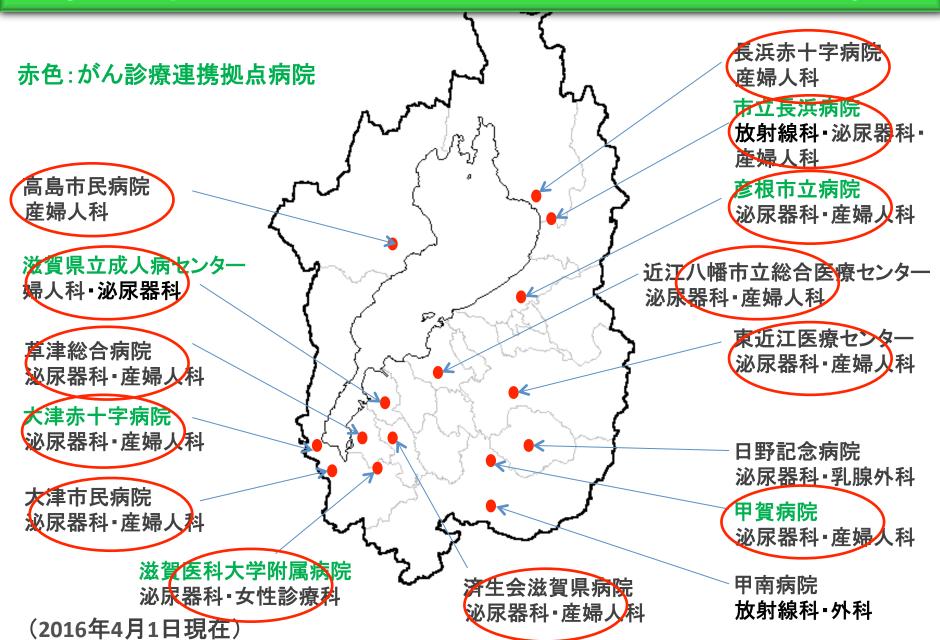
健康医療福祉部健康医療課 がん・疾病対策室へ郵送

〒520-8577大津市京町4-1-1 電話 077-528-3616 FAX 077-528-4857

# 最初の依頼でDVD研修会を施行した施設



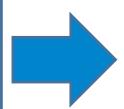
# 県の事業により研修会を施行した施設



# がん患者が妊孕性温存を希望された場合 早急に対応するために



本当に温存が必要? どの病院に紹介すべき? どれくらい期間がかかる? どの治療を選択すべき?



がん・生殖医療 ネットワーク

がん治療医

妊孕性温存を 患者と相談 紹介

生殖治療医

患者に情報 提供 必要な患者に 妊孕性処置を 行う

できるだけすみやかに に患者さんが受診 できるシステム

できるだけ早期に 妊孕性の温存ができる システム

#### できるだけすみやかに患者さんが受診できるシステム

# 滋賀医科大学附属病院 がん妊孕外来

正式名称:がんや自己免疫疾患などの患者さんの妊孕性温存外来

通称 : がん妊孕外来

診療日時 月曜日から金曜日の 9時から12時まで

診療内容 1件相談に対し1時間から1.5時間

治療による影響や治療方法などにつき詳しく説明

予約方法 電話相談なしでも病診連携を用い受診可能

平成27年6月1日より開設

# 滋賀医科大学附属病院產婦人科外来

|       | 月        | 火        | 水                     | 木        | 金        |
|-------|----------|----------|-----------------------|----------|----------|
| 初診    | 髙橋       | 木村       | 村上                    | 髙橋       | 笠原       |
| 婦人科   | 中川       | 樋口       | 天野                    | 脇の上      | 西村       |
| 産科    | 石河       | 小野       | 石河                    | 山田       | 辻        |
| 産後健診  | 西村       |          |                       |          | 交代制      |
| 胎児超音波 | 午後交代制    |          |                       |          | 午後交代制    |
| 妊孕内分泌 | 平田<br>李宗 | 竹林<br>花田 | 交代制                   | 平田<br>森宗 | 竹林<br>花田 |
| がん妊孕  | 交代制      | 交代制      | 交代制                   | 交代制      | 交代制      |
| 退伍外木  |          |          | 并田<br>(1週 <b>午</b> 前) |          |          |
| 子宮内膜症 |          |          | 村上他                   |          |          |

できるだけ早期に妊孕性の温存ができるシステム

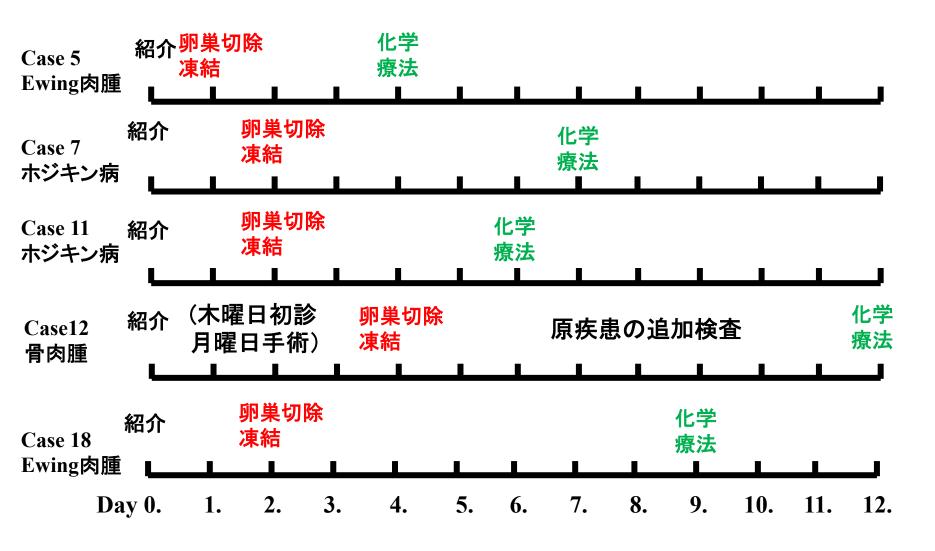
# 滋賀医科大学附属病院 麻酔科・手術部の協力体制

①患者のがん妊孕外来受診時に手術部へ電話連絡

②連絡を受けた手術部看護師が、麻酔科医師と相談できるだけ早く手術枠を設定

数十分後にはがん妊孕外来へ折り返し連絡が来る (現在まで急ぐ症例に関しては、連絡後3日以内に 手術枠を設定いただいています)

# 紹介から治療までのタイムスケジュ-ル



化学療法施行後も、感染症や創部の再出血は認めなかった